

# 否定からの肯定が “絶対の肯定”となる



「太田先生！ なんですかっ！ ホステスさんと飲んで！！」

いや、違いますよ！

お隣の女性は、来月4日に講演会でお話いただくソフィアさんです。

「ソフィアさんって、やっぱりホステス名じゃないの？」

だから、違いますって！

ソフィアさんは静岡生まれの日本人で、これは業界での“芸名”です(笑)



「太田先生！ ついにお坊さんにまで説教するようになったの？」

いや、違いますよ！

お隣は同じく、来月講演会でご一緒する妙法寺管長 牛尾日秀さんです。  
写真は去年、『終活講演会』でのトークセッションの様様。

牛尾さんとは死生観など  
真面目な話をする時もある、  
太田東西の手作りピザに  
ご満悦の牛尾さん  
という付き合いもある。



私は同業者よりも  
異業種の方との付き合いが多いです。

しかし、人って変わるものですね！

薬科大学を卒業して大学病院に勤務していた20代の私は、スピリチュアル系の  
霊能者、偉そうなお坊さん、大嫌いだったんですから！（笑）

「除霊だとか、ご祈願だとか、先祖供養だとか、パワーストーンを付ければと  
か、オーラの色がどうだからとか、そんなことで病気が治るのなら、病院も薬  
も要らないじゃないかっ！」 そう考えていました。

見えない世界のことを語る人間は“医療業界の敵”だと反目していたのです。

それからおよそ30年が経ち・・・

スピリチュアルカウンセラーのソフィアさん、出家して50年の牛尾日秀さん  
お二人との講演会を企画するとは夢にも思いませんでした～～  
自分でも自分の変貌ぶりが信じられません(笑)

ではなぜ、“否定から肯定へ”考え方が変わったのか？

それは、「薬で病気は治らない」と悟ったからです。

誰に習ったのではなく、すべて自分の体験からの気づき、学びです。

でも薬剤師の生業は、薬を処方、販売すること。

薬剤師が「薬で病気は治らない」と認めることは、自らの仕事を否定すること  
でもあります。その現実を認めたくない気持ちもありました。

でも、現実そうなのです！

「薬物依存」という社会問題がそれを示唆しています。

医療現場をよく見てみれば、病気が治って幸せにしている患者さんは少ない。

大半は定期的な通院で、袋いっぱい薬を持ってうつむき加減で帰宅する。

病院に行って薬をきちん飲んでいれば治る、健康になると勘違いしている。

「病気はお医者さんが治してくれるもの」そう考えている人たちが多い。

ではなぜ、薬で病気が治らないのか？と言えば

「どうして自分はこの病気になったのか？」

「この病気になったということは自分にとってどんな意味があるのだろうか？」

患者さん自身が、自分のことをよく考えていないから。

お医者さんのほうにもそうした考え方がないので、ただただ目に見える検査  
データをもとにして治療が行われる。

お医者さんも患者さんも、お互いにそれでいいなら、それでいい。

ただ私は、薬で病気は治らないという現実と直面した際、妥協できなかった。

薬剤師という立場にとらわれずに「いったいどうすれば、病気を根本から治す  
ことができるのか？」ひたすら探究し続けた。

そして、ついにわかった！！

**体に現れる病気は、“心の在り方”とつながっている**と。

その人の心の状態が、無意識に体に病気を生み出していると。

だから根本から病気を治すためには、目に見えない部分を治す必要がある。

**病気はその人の“生き方考え方の問題”**だと確信したのです。

あれだけ目に見えない世界を嫌っていた私が、スピリチュアルや仏教を勉強するにつれて、水を得た魚のようにイキイキしてきました～(笑)

『太田東西薬局は、あなたの生き方考え方を見つめ直す場所』

だからいつも、漢方相談が人生相談になっているんだ(笑) (´ ˘ `)  
そして「生き方考え方に目を向けさせる」という私の仕事は、  
ソフィアさんのカウンセリング、牛尾さんの説法と同じだった！  
私の漢方は、ソフィアさんのサイキック、牛尾さんの仏教哲学と同じ。  
アプローチする手段が違うだけで、本質は同じだと気づいたのです！！

思い起こせば、宗教と同じくらい当時嫌っていたものが、お恥ずかしながら  
『漢方』でした！！!( ; )!!

「今時、薬草で病気が治るなんてナンセンス、時代錯誤もはなはだしい！」  
西洋医学の現場にいて漢方を否定した私が、それから10年後、漢方薬局を  
開業することになるとは・・・でも今、自信を持ってこの仕事に従事できて  
いるのは、「否定から入ったから」です。

**否定からの肯定は、強い！ プレない！！ 迷わない！！！！**

お客様の中に、高校生のYちゃんがいます。  
熱心なお母さんとは裏腹に、Yちゃんは太田東西が嫌いで、相談室で反抗的態  
度をとっていました。恐縮するお母さんでしたが、私は頼もしく見ていました。  
そのYちゃん、今では自ら漢方を飲んで、私に笑顔を見せてくれます。  
そして来月の講演会にも参加してくれます！(^o^)/

子どもの反抗的否定的な態度に、ハラハラドキドキイライラの親御さんも  
多いかと思いますが、どうか安心してください。  
そのものの良さ、本質を知るには、否定から入ったほうがいいのです。  
お行儀がよく、いつも親の言うことを聞いて、いつもニコニコしているような  
反抗(否定)を知らない子どもは、大人になって要注意です。

『否定からの肯定理論』で言うと、散々反抗して親を困らせた子どもほど、  
大人になって親孝行してくれますよ(笑)

否定からの肯定人生は、決して遠回りではなく、気づきと学びがとっても多い  
豊かな人生になります。

ただ、否定から肯定にシフトできる「柔軟性」が必要で、頑固で強情な人には  
厳しいかも・・・(´ ˘ `)